

平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年9月2日

上場取引所 東

上場会社名 ピープル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成25年9月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年1月期第2四半期の業績(平成25年1月21日～平成25年7月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	1,377	12.7	△70	—	△3	—	△3	—
25年1月期第2四半期	1,222	△1.3	△8	—	△7	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	△0.61	—
25年1月期第2四半期	△1.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第2四半期	2,047	1,733	84.7	396.08
25年1月期	2,239	1,816	81.1	415.16

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 1,733百万円 25年1月期 1,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年1月期の配当予想につきまして、期末配当予想につきましては通期業績見通しと連動しますため、第3四半期終了し年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年1月21日～平成26年1月20日)

平成26年1月期 第3四半期累計期間の業績予想(平成25年1月21日～平成25年10月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	2,188	13.1	△42	—	13	△54.8	8	△52.0	1.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第3四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第3四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年1月期2Q	4,437,500 株	25年1月期	4,437,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年1月期2Q	62,221 株	25年1月期	62,221 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期2Q	4,375,279 株	25年1月期2Q	4,375,298 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. 平成26年1月期第3四半期会計期間(平成25年7月21日～平成25年10月20日)および  
平成26年1月期第3四半期累計期間(平成25年1月21日～平成25年10月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %	円 銭
26年1月期第3四半期	810	(13.8)	27 (△23.6)		16 (△54.5)		10(△52.3)	2.35
25年1月期第3四半期	712	(△2.9)	36 (△50.9)		36 (△51.9)		22(△51.0)	4.92
26年1月期第3四半期累計	2,188	(13.1)	△ 42 ( - )		13 (△54.8)		8(△52.0)	1.74
25年1月期第3四半期累計	1,934	(△1.9)	28 (△82.8)		29 (△82.3)		16(△83.2)	21.64

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	9
【第2四半期会計期間売上高】	9
【第2四半期累計期間売上高】	9
【新発売商品】	9

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

	第2四半期会計期間 (平成25年4月21日～平成25年7月20日)		第2四半期累計期間 (平成25年1月21日～平成25年7月20日)	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	709百万円	20.1% 増	1,377百万円	12.7% 増
営業利益	△39百万円	-	△70百万円	-
経常利益	△20百万円	-	△3百万円	-
第2四半期純利益	△13百万円	-	△3百万円	-

第2四半期に入り、アベノミクスに伴う円高修正や株高を起点に景気が自立的な回復に一步踏み出したことを印象付ける日銀短観等、景況感は徐々に改善され、実用品等には消費者心理が上向きに表れ始めているようです。しかしながら玩具市場では、第1四半期から続く低迷からゴールデンウイーク以降も依然回復の様子を見せていません。

当37期第2四半期の当社玩具部門においても、ゴールデンウイークを挟み前年を大きく超えて補充回転された5月度の勢いは長く続かず、6月度以降7月度まで停滞圧力に抑えられたように回復することなく推移しました。しかし当第2四半期では自転車部門の定番品の売れ行き良好が補ったことで国内販売は底堅く前年実績を維持し、海外販売の好調が重なりましたので、当第2四半期会計期間の売上高は7億9百万円、前年同期間対比20.1%増となりました。期初からの累計同期間売上高でも12.7%増と増収幅を広げました。

玩具市場は消費の不透明さを増しているとはいえ、消費者の確かな手ごたえがある商品も当第2四半期に現れています。

知育・乳児カテゴリでは当37期第1四半期の新製品「頭と体の熱中ボックス」(税込7,140円)が高額ながら力強く回転し、又、当第2四半期6月度発売の「ピタゴラス算数」(税込5,250円)は、広告で既存品「ピタゴラスプレート」(税込12,600円)の回転も押し上げています。

他社にはない“お米のつみき”や“お米のおもちゃ”が口コミ高評価で回転も定着し、低単価乳幼児玩具の“ノンキャラ良品シリーズ”も堅調な動きで同カテゴリ売上を下支えています。同カテゴリでは、前年度にヒットし当年の定番商品の薄型テレビを模した「さわっていいとも知育テレビ」(税込2,709円)に対し、高くても良いからチャンネルを増やして欲しいという購入者の要望を組み入れた、大画面6チャンネル式「さわっていいとも知育テレビ“BIG版”」(税込5,250円)を7月度に発売し付加価値を高め更なる消費者動員拡大に向かっています。

女兒玩具カテゴリではお人形シリーズが5月度で著しい補充回転を示した後、6月度では、例年の季節限定人形の発売を戦略的に控えた分を、“今ならドレス浴衣がおまけ!”キャンペーンで盛り上げ、当四半期7月度後半にその効果でセルアウトが再び上向き挽回する等、底堅く消費者を捉えている様子も見え始めています。

玩具と異なる大人用実用品で構成される自転車市場は、円安の影響で実売価格の改定等が進んでいますが販売台数は安定している様子です。子供車はPB品の品揃えで強化された前年度以降店置き数に限界があり、当期においても新製品導入に苦戦しています。そうした中、「いきなり自転車シリーズ」は、第1四半期の大手販売店の仕入れ調整期間を抜けて、ようやく前年秋発売の新色の好調が当第2四半期で出荷ベースに現れ、国内販売売上が押し上げました。

その他カテゴリでは、三輪車・乗用市場が競合各社の供給過多の上に夏季猛暑も重なり、市場の著しい落ち込みを見せており、当社の「公園レーサー」や三輪車にも影響しています。

又、トイファニチャーでは、前年度コスト高で販売継続を断念した、対話して遊び相手になる幼児用机を「つくえちゃん先生」と改名し、当四半期6月度にリニューアル登場させ、幼稚園前にリビングで遊びながら机に集中できるベネフィット訴求キャンペーンを再び開始しました。

海外販売では前年にタイの洪水からの復興供給が開始された第2四半期と重なりましたが、依然米国向け販売が前期比増加を続けており、当第2四半期の売上高に影響し増収に繋がっています。

さて増収の一方、第1四半期で大きく影響した為替の円安変動は、当第2四半期においても平均実勢レートが更に円安に進み、益々原価上昇したことから営業損失は避けられず、当第2四半期会計期間は39百万円の営業損失となり、当第2四半期累計期間では70百万円の営業損失となりました。

営業外収益には対策としての為替予約評価益が計上され営業損失を圧縮し当第2四半期会計期間で20百万円の経常損失となり、前期36期の第2四半期累計期間の経常利益においても7百万円の損失を計上していますが、当期第2四半期累計同期間では主に為替の影響により3百万円の経常損失となりました。

当37期はこのように時価評価で営業外収益に為替予約の評価損益が上下しながら反映し純利益まで連動していきます。尚、来期を睨み円安傾向は進行する見込みが強まるとみて、来期の仕入決済に係る為替変動リスクに備え米ドルを当期中に取得する必要があると同時に現在の時価評価方式にヘッジ会計の繰延ヘッジ処理を取り入れ、当期中に手配した外国為替が来期の取引発生時に評価されるよう会計方針の適用を取締役会で審議し決議いたしました。(詳細は4ページ「(3)追加情報」の項をご参照下さい。)

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から1億92百万円減少の20億47百万円となりました。

流動資産は、仕入決済および配当金や法人税等の支払による現金及び預金が減少した一方、為替予約が計上され、18億85百万円となりました。流動負債では、仕入決済に伴って支払手形及び買掛金が減少し、また、法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少で前事業年度末から1億9百万円減少の2億63百万円となりました。また、固定負債のその他には、繰延ヘッジによる為替予約の税効果会計処理で繰延税金負債0.4百万円が計上されました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より84百万円減少の17億33百万円となり、結果、自己資本比率は84.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、期首より2億62百万円減少し（前第2四半期累計期間比較では30百万円の増加）11億81百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少の一方たな卸資産の増加、法人税等の支払により1億58百万円の支出（前年同期間比較では73百万円の支出の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により17百万円の支出（前年同期間比較では20百万円の支出の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により88百万円の支出（前年同期間比較では82百万円の支出の減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

（次期第3四半期見通し）

次期第3四半期では、前第2四半期の終盤に盛り返した玩具の国内販売が底堅く推移する見通しに加え、海外販売の増収は継続する見通しもあるため、売上高は14%程度の増収を見込んでいます。

為替変動は極めて読みにくく、今後も営業利益への圧迫を余儀なくされる傾向は続き、為替の捉え方で変動することもあります。次期四半期の経常利益では黒字転換する見通しです。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(法人税法改正に伴う影響)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(外貨建予定取引に係る為替予約取引のヘッジ会計の適用)

当社は、従来より外貨建予定取引に係る為替予約取引について、期末ごとに時価評価を行い、評価差額金を当期の損益として処理する方法をとっておりましたが、来期の仕入決済に掛る為替変動リスクに備え取得する為替予約について、当第2四半期において社内規程等を変更し、ヘッジ会計を適用し繰延ヘッジ処理することとしました。これは為替変動リスクの管理活動を財務諸表に適切に反映し、財政状態及び経営成績をより適正に表示するために採用したものです。

なお、ヘッジ会計採用前に取得した為替予約については従来の会計処理によっておりますため、当第2四半期末における保有残高について時価評価した結果、53百万円の為替予約時価評価益を損益計算書の営業外収益に計上しております。また、ヘッジ会計採用後に取得した為替予約については、来期に予定する外貨建取引に対しヘッジする目的であるため、繰延ヘッジ損益として評価差額金2百万円を貸借対照表の長期負債の部(その他(繰延税金負債))および純資産の部に振り分けて計上し、来期へ繰延処理しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,443,376	1,180,912
受取手形及び売掛金	364,440	304,775
商品	256,824	314,311
原材料	6,886	8,594
為替予約	—	55,279
その他	15,063	21,291
貸倒引当金	△692	△579
流動資産合計	2,085,897	1,884,582
固定資産		
有形固定資産	51,600	55,205
無形固定資産	1,755	1,159
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	99,373	105,670
投資その他の資産合計	99,401	105,698
固定資産合計	152,756	162,063
資産合計	2,238,653	2,046,645
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,694	169,887
未払法人税等	70,352	1,502
その他	85,151	91,950
流動負債合計	372,197	263,339
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
その他	—	355
固定負債合計	50,000	50,355
負債合計	422,197	313,694
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,442,995	1,352,833
自己株式	△33,255	△33,255
株主資本合計	1,811,246	1,721,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,210	10,927
繰延ヘッジ損益	—	940
評価・換算差額等合計	5,210	11,867
純資産合計	1,816,456	1,732,951
負債純資産合計	2,238,653	2,046,645



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年7月20日)
売上高	1,221,926	1,377,404
売上原価	689,233	866,063
売上総利益	532,693	511,341
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	163,753	190,305
販売促進費	18,246	29,791
運賃	80,235	83,145
役員報酬	30,108	30,108
給料及び手当	58,673	58,343
支払手数料	29,120	27,757
研究開発費	72,312	73,265
その他	88,176	88,277
販売費及び一般管理費合計	540,622	580,991
営業損失(△)	△7,929	△69,650
営業外収益		
受取配当金	218	515
為替予約評価益	—	53,762
為替差益	418	11,589
その他	270	506
営業外収益合計	906	66,372
経常損失(△)	△7,023	△3,278
特別損失		
固定資産除却損	6	—
特別損失合計	6	—
税引前四半期純損失(△)	△7,029	△3,278
法人税、住民税及び事業税	280	302
法人税等調整額	△1,636	△923
法人税等合計	△1,355	△621
四半期純損失(△)	△5,674	△2,657

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月21日 至 平成24年7月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月21日 至 平成25年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△7,029	△3,278
減価償却費	32,395	17,805
為替予約評価損益(△は評価益)	—	△53,762
売上債権の増減額(△は増加)	△32,058	59,666
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,413	△59,194
仕入債務の増減額(△は減少)	△73,029	△46,807
その他	17,790	△4,282
小計	3,482	△89,853
利息及び配当金の受取額	222	519
法人税等の支払額	△88,700	△68,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,996	△157,571
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△36,700	△17,188
無形固定資産の取得による支出	△376	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,075	△17,188
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△169,632	△87,874
その他	389	224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,263	△87,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△624	170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△291,958	△262,239
現金及び現金同等物の期首残高	1,616,748	1,442,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,324,790	1,180,704

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第2四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

①第2四半期会計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第2四半期会計期間 (自平成24年4月21日 至平成24年7月20日)	当第2四半期会計期間 (自平成25年4月21日 至平成25年7月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	222,566	208,384	93.6
女兒玩具	102,451	93,471	91.2
遊具・乗り物	129,577	138,960	107.2
その他	135,814	268,106	197.4
合計	590,408	708,921	120.1

②第2四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年7月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	427,966	437,334	102.2
女兒玩具	243,761	223,164	91.6
遊具・乗り物	326,179	279,096	85.6
その他	224,020	437,810	195.4
合計	1,221,926	1,377,404	112.7

③新発売商品

カテゴリー名	第1四半期 新発売商品		当第2四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格 (税込)	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「ごきげん熱中チェア」	¥6,279	「ピタゴラス算数」	¥5,250
	「おひぎにのんのちゃん」3種	各¥2,604	「さわっていいとも!知育テレビBIG版」	¥5,250
	「頭と体の熱中知育ボックス」	¥7,140		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「オルゴール音の枕元メリー」	¥1,554		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「カシャカシャガーゼ&おしゃぶり」	¥819		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「発見いっばい!お手てがうがう」	¥819		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「頭と体の発達を促すぐけミック体操」	¥1,239		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「これなら安心 かみ心地2通りモン」	¥525		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「引っぱるとカシャピカッ」	¥924		
女兒玩具	お人形「桜のぼぼちゃん」	¥4,599		
	着せかえ「桜のフレアトップス」	¥1,470		
	お人形「ちいぼぼちゃんミルク&スリーパー付き」	¥4,389		
	「おしゃべりおしゃぶり入り子育て10点セット」	¥3,444		
	お人形「よちよちぼぼちゃんうさぎファッション」	¥4,389		
	「おやつ時間よ!」	¥1,029		
遊具・乗り物	「チェーン式スポーツ三輪(ルビー)」	¥16,800	—	
	「ピタタンコ自転車(グリーン・オレンジ)」	各¥20,790		
	「1歳には全身でブロック」	¥12,390		
その他	「自分でハイチェア(グリーン、レッド)計2色」	オープン価格	「つくえちゃん先生」	¥13,440
	バスタイ「おふろの電気消して!夜釣りバトルセット」	¥892	バスタイ「おふろの電気消して!光る生きもの」3種	各¥450
	バスタイ「おふろの電気消して!光る生きもの」5種	各¥450		
	バスタイ「おふろの電気消して!専用発光体」	¥450		